

情報活用能力到達目標(例)一覧改訂版

観点	番号	項目内容	小学校・低学年	小学校・中学年	小学校・高学年
A 情報活用の実践力	1	インタビュー	インタビューカード等を用いて、簡単なインタビューをすることができる。	インタビューの手引等を用いて、基本的なインタビューをすることができる。	基本的なインタビューの仕方を身に付け、必要な情報を収集することができる。
	2	図書や新聞などによる情報収集	教科書等を用いて、いろいろな情報を集めることができる。	教科書や図書館の本などを利用して、必要な情報を集めることができる。	教科書や資料集、統計などの各種の資料を活用して、必要な情報を集めることができる。
	3	Web検索	教師と一緒にインターネットで調べることができる。	教師が準備したリンク集や児童用の検索エンジンなどを用いて、調べることができる。	児童用の検索エンジンを用いて、情報を検索することができる。
	4	撮影と画像の加工	デジタルカメラを用いて、目的に合った写真を撮影することができる。	デジタルカメラの画像をコンピュータに取り込み、印刷することができる。	デジタルカメラやスキャナからの画像をコンピュータに取り込み、他のソフトで利用することができる。
	5	マウスやキーボードの操作	マウスを用いて、文字の入力や簡単な作図をすることができる。	マウスを用いた作図及びキーボードからの文字入力での簡単な文書作成(単語入力)をすることができる。	テーマに基づいて、マウスによる作図及びキーボードからの文字入力での簡単な文書を作成することができる。
	6	コンピュータによるグラフ作成			コンピュータを活用して、目的に応じて簡単なグラフを作成することができる。
	7	Webページ作成			ホームページ作成ソフト等を利用して、簡単なWebページ(文字・画像・リンク等)を作成することができる。
	8	資料の作成と発表	調べたことを絵や簡単な文章にまとめ、発表することができる。	簡単な発表資料を広幅用紙等で作成し、相手に分かりやすく発表することができる。	コンピュータを活用して、図や表などが入った簡単な発表資料を作成し、相手に分かりやすく発表することができる。
	9	電子メールの操作		電子メールの送受信をすることができる。	メールアドレスや件名を入力して電子メールを送受信することができる。
B 情報の科学的な理解	1	ソフトウェア		目的に応じて様々なソフトウェアがあることが分かる。	ソフトウェアの基本的な機能が分かる。
	2	周辺機器		コンピュータと周辺機器を接続して目的の処理をしていることが分かる。	スキャナやプリンタなどの周辺機器の役割を説明することができる。
	3	インターネット		情報を収集するためにインターネットの利用が有効であることが分かる。	情報を発信するためにインターネットの利用が有効であることが分かる。
	4	問題解決の手順			問題解決の方法を考え、解決する手順が分かる。
	5	コンピュータ活用			目的に応じてコンピュータを活用することが有効であることが分かる。
	6	マルチメディア			コンピュータで文字や絵・写真などを組み合わせることで扱うことができることが分かる。
	7	コンピュータの特性と仕組み			コンピュータの基本的な構成と役割が分かる。
	8	コンピュータによる情報伝達			情報伝達手段としての電子メールの特徴が分かる。
	9	情報の表現方法	調べた数を表やグラフを使って表すと、分かりやすいことが分かる。	情報の表現方法としての表や棒グラフ、折れ線グラフの特徴が分かる。	情報の表現方法としての円グラフ、帯グラフの特徴が分かる。
C 情報社会に参画する態度	1	情報発信	自分の思いや考えを相手に伝えようとする。	相手に情報を正しく伝えようとする。	相手の気持ちを考えて、情報を発信しようとする。
	2	個人情報の保護	知らない人から名前や電話番号などを聞かれても教えないようにする。	名前や電話番号などを悪用した犯罪があることを理解し、それらの個人情報を保護しようとする。	個人情報を公開することで様々な問題が起きることを理解し、個人情報を保護しようとする。
	3	情報の真偽の判断	自分が受け取った情報は正しいか、大人に聞いたり、たずねたりして確かめようとする。	インターネットの情報には、正しくないものもあることを知った上で、情報を収集しようとする。	受け取った情報が正しいかどうかを意識しながら、情報を収集しようとする。
	4	コンピュータ犯罪	約束や決まりを守り、インターネットやコンピュータなどを正しく使おうとする。	インターネットやコンピュータを使うことの便利性和危険性について考えながら、正しく使おうとする。	インターネットや携帯電話を使った犯罪があることを理解し、正しく使おうとする。
	5	情報モラル	よいことや悪いことを区別し、約束や決まりを守ろうとする。 自分や友だちの作品などを大切に扱おうとする。	情報モラルの意味を知り、正しい行動が取れるようにする。 友だちの作品や写真などを利用するときには、許可が必要であることを考えながら、正しく利用しようとする。	情報モラルに反した行為や内容を判断することができる。 著作権・肖像権等の存在を知り、著作物などの権利を尊重しようとする。